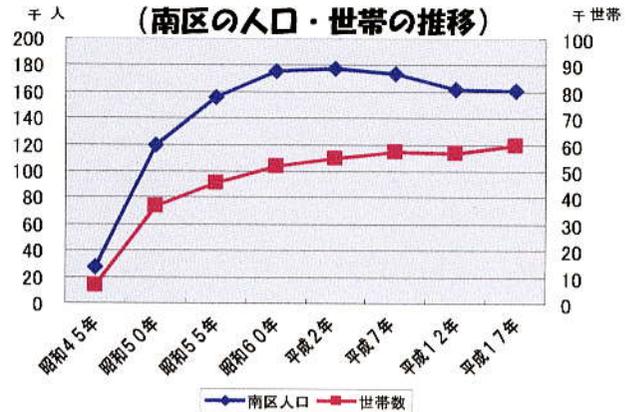


1 南区の人口と世帯の推移

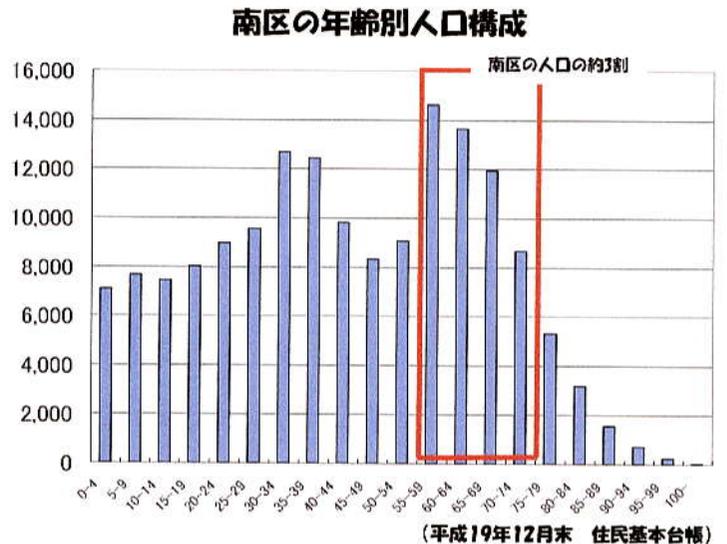
南区の人口は、ニュータウンがまち開きされた昭和42年（1967年）から平成4年（1992年）まで増え続け、176,014人がピークでした。その後減少し、平成20年（2008年）現在（1月1日）の人口は、156,975人です。一方、世帯数は増え続け、60,889世帯で、世帯規模は2.6人/世帯となっています。（推計人口・世帯数）



2 南区の年齢別人口構成

南区の人口は減少しつつある中で、65歳以上の高齢者は増え平成19年（2007年）12月末の高齢化率は19.7%に達しています。

55～64歳の人口分布が多く、今後更に高齢化率が高くなることが予想されます。



3 泉北ニュータウンの人口及び高齢化率の推移

泉北ニュータウンは昭和40年（1965年）に新住宅市街地開発事業の都市計画決定がなされ、昭和41年（1966年）に事業着手、昭和42年（1967年）に宮山台で最初のまち開きが行われました。

その後、昭和54年（1979年）の御池台、新檜尾台のまち開きまで住宅開発が続き、人口は平成4年（1992年）に164,587人をピークに、平成19年12月末時点では142,219人（ピークから13%減）となっています。

一方、高齢化率は増加し続けており、平成19年（2007年）12月末で19.7%となっています。

